

会 議 録

会議の名称	第19期東村山市社会教育委員会議（第7回）				
開催日時	平成24年2月16日（木）午後7時～9時				
開催場所	東村山市役所いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者： （委員）伊藤・桑原・小山・島崎・杉本・土田・當間・吉井・吉満 ※敬称略</p> <p>（市事務局）社会教育課長 神山・生涯学習係主任 野沢・生涯学習係主事 野崎</p> <p>●欠席者： （委員）小林</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 報告事項 （1）「市民の集い」について （2）「多摩六都ヤングライブフェスティバル」について （3）青少年問題協議会について （4）放課後子ども教室運営委員会について</p> <p>3. 協議事項 （1）第19期社会教育委員会議研究テーマについて</p> <p>4. その他 （1）第9回会議日程について （2）東京都市町村社会教育委員連絡協議会理事会（第2回）について</p> <p>5. 閉会</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係 担当者名 神山・野沢・野崎 電話番号 042-393-5111（内線3513） ファックス番号 042-397-5431</p>				
会 議 経 過					
<p>1. あいさつ ○議長 最近、近隣市の動向を見ると、社会教育を取り巻く環境に変化が見られる。今期の研究に向けて、我々もただ傍観するのではなく、常に成り行きを意識するべきである。みなさんのご協力をお願いしたい。</p> <p>2. 報告事項 （1）「市民の集い」について ○課長 2月5日（日）、中央公民館ホールにおいて開催した。従来の内容を一部</p>					

変更し、今年度より3部制となった。第1部では、例年行っている各中学校の生徒会発表に加え、税の作文及び人権作文入選者による作文朗読発表を行った。第2部では、歌手の杉山裕太郎氏を招き、「家族の絆が生命（いのち）を救う～どん底の中で見つけたヒカリ～」というテーマで、自作の歌を交えた講演をいただいた。第3部では、市内中学校・高等学校生徒が吹奏楽演奏を披露し、会場を盛り上げていた。当日、ご出席いただいた方から、感想や意見があったら伺いたい。

○A委員

「市民の集い」が開催された翌週に特別支援学級児童の作品展が1階ギャラリーで開催されていたが、「市民の集い」と同日に開催したほうがよかったと思う。相乗効果もあったのではないかな。

○課長

特別支援学級関連事業については、所管が学務課となるので、今後は、同時期に開催できるよう早い段階から協議し、日程の調整に努めたい。

○B委員

今回、生徒による発表は、主に中学生が対象となっていたが、小学生を対象にしたものがあったのもよいのではないかな。さもないと「青少年健全育成大会」との主旨の違いがわからない。

○C委員

「青少年健全育成大会」は、主に「中学生の主張大会」が中心となっているので、中学生の出番が多くなるのは当然のことと思うが、「市民の集い」は、本来「心豊かな子どもの成長を願う」主旨で催されている事業なので、小学生にも発表の機会を与えて参加を呼び掛けるべきではないかな。そうすれば、来場者も増えると思う。

○D委員

吹奏楽演奏において、公立学校のほか私立学校の参加があったのが良かった。今後も、公私問わず市内の多くの学校から参加をしていただきたいと思う。

○課長

小学生の参加については、各小学校長と協議し、可能な限り参加を呼び掛けたい。

○F委員

毎年、様々な講師を招いて講演会を実施しているが、どのような方を標的にしているのかが今一つはっきりしていないような印象を受ける。

○G委員

今後、講演を実施する際には、ある程度標的を定めた上で講演テーマ及び講師を選定したほうがよいのではないかな。

○課長

来年度からは、事業の狙いを明確にした上で、講師やテーマを選定していきたいと思う。

(2)「多摩六都ヤングライブフェスティバルについて」

○課長

2月12日（日）、中央公民館ホールにおいて開催した。今回、事業開始以来最多となる18団体が参加して、午前の部と午後の部の2部に分けて

開催した。都立小平高校軽音楽部員の参加が多かったが、今後、他の高校からも参加が増えればよいと思う。来場者が少なかったのが残念であったが、参加者が相互にステージ前で応援していたのが良かった。

○H委員

午前中の来場者が少なかったのが残念だった。参加者側にも友人を誘い合って参加するなどの努力が必要だと思う。また、各学校の卒業生なども取り込めれば良いと思う。

○A委員

ゲストを招くことはできないか。来場者を増やすためにはいわゆる目玉企画も必要ではないか。

○B委員

当事業は、青少年が日頃の練習の成果を発表する場としては、意義のあるものだと思う。今回、当市からの参加が少なかったのが残念だった。学校だけでなく、多摩六都の公共施設で活動しているバンドがもっと参加すればよいと思う。

○C委員

市内の中学生にもチラシを配布し、参加は無理でも客として来場するよう呼びかけられないか。

○課長

今回、学校以外の公共施設にもチラシ・ポスターを配布し、参加を呼びかけてきたが、昨年ほど大きな反響がなかった。また、中学校へのPRについては、事業対象を概ね高校生以上と想定していたこと、そして、開催日が高校入学試験の時期と重なっていたことを鑑み、校長会において事業概要を説明したにとどまり、チラシ・ポスターの配布は見送った。しかし、来場者を増やすためには幅広くPRすることが必要になってくるので、今後は、改めて各学校の校長先生にも事業の主旨をご理解いただいた上で、中学生にも当事業について周知していきたい。

(3) 青少年問題協議会について

○D委員

社会教育委員会議からは、東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会（10月21日開催）並びに今期研究テーマについて報告した。意見交換では、出席委員より市内であいさつ運動が活発に行われているとの声が多く上がった。また、警察署の方から自転車に関する交通ルールの説明があり、本来、子どもの手本となるべき大人がルールを守っていない傾向があり、子どもに悪影響を与えるので、気をつけてほしいとのことである。

(4) 放課後子ども教室運営委員会について

○E委員

1月20日（金）、青葉小学校において開催され、運営委員、コーディネーター、事務局が出席した。事務局より実施状況の報告と今後の予定について説明があり、その後の協議で、委員より当事業に関する意見や感想が述べられた。子どもの安全確保、子どもの居場所作りのために大変意義のある事業であるという評価の声が挙がる一方で、安全管理員が不足してい

ること、地域の方に対する事業周知が不十分であること、事業に関する保護者の認識に差があること、児童クラブとの連携、緊急時の対応など課題も多く挙げられた。

今後、運営委員の一員として、課題解決に向けて取り組んでいきたいと思う。

### 3. 協議事項

#### (1) 第19期社会教育委員会議研究テーマについて

- ◆課長より社会教育に関する庁内の進捗状況について説明する。これについて、委員より意見をいただき、これを体系的に整理した上で研究テーマに関する議論を深めていく運びとなった。

### 4. その他

#### (1) 第9回会議日程について

- ・第9回会議 平成24年4月18日(水)午後7時～ 於 教育委員会室  
→出席委員の承認により上記日程で開催することが決定。

#### (2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会理事会(第2回)について

- ・日時 平成24年2月23日(木) 午後3時から
- ・会場 多摩市役所 ※議長、事務局が出席する

### 5. 閉会